

とうきのアシブトホコリダニ（新寄主）

令和7年8月、空知管内の露地とうきほ場において、採種株の花序に白いかすり状の小斑点や褐変が認められ、9月上～中旬には熟さないまま枯死し、採種に至らなかった。被害部位である花序にホコリダニが多数寄生しており、プレパラート標本での同定により、アシブトホコリダニ *Tarsonemus confusus* Ewing であることが判明した。本種は雌成虫の体長は200 μm内外、雄成虫の体長は150 μm内外であり、果樹、野菜、花卉からよく採取される。また、稻わらや穀などの貯穀類や菌類培地にも発生することがある。

（中央農試）



とうきのアシブトホコリダニ（中央農試 佐藤原図）